

ボーリング調査

項目	区分	単位	ノンコア ボーリング		計	適用	
			Bor. 1	Bor. 2			
			土質Bor	土質Bor			
調査 ボーリング	調査ボーリング (φ66ノンコア) 50m以下	粘性土・シルト	m	5.00	5.00	10.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支持層の深度、層厚</li> <li>・圧密沈下層の有無</li> <li>・地下水位の把握</li> <li>・液状化検討の必要性の有無。</li> </ul>
		砂・砂質土	m	10.00	10.00	20.00	
		礫混じり土砂	m	5.00	5.00	10.00	
	計		20.00	20.00	40.00		
原位置試験等	標準貫入試験	粘性土・シルト	回	5	5	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・N値より地盤の強度把握</li> <li>・軟弱地盤や支持層の評価</li> <li>・液状化検討の必要性の判断に必要</li> </ul>
		砂・砂質土	回	10	10	20	
		礫混じり土砂	回	5	5	10	
	計		20	20	40		
運搬費	資機材運搬	クレーン付 トラック2.9t	日	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーリング機材の運搬</li> </ul>
仮設・その他	足場仮設	平坦地 足場高0.3m以上	箇所	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孔壁保護のケーシング 挿入の際は0.3m以上必要</li> </ul>
	調査孔閉塞	(別孔含む)	箇所	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セメントミルク等による ボーリング孔の閉塞</li> </ul>
	給水費	ポンプ運転 20m以上	箇所	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーリング作業用水</li> </ul>

※地質は想定のため、変更が生じることがあります。

サウンディング

調査項目	数量	適用
スクリーウエイト貫入試験 (旧スウェーデン式 サウンディング)	5m × 5箇所 = 25m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に戸建の地耐力の把握。</li> <li>・礫にあたりと試験困難となる。 礫層下位の軟弱層を把握できない。</li> <li>・調査ボーリングの補完的調査。</li> </ul>

一般調査業務費(解析等調査)

項目	数量	備考	適用
資料整理とりまとめ	1業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーリング 2本</li> <li>・スウェーデン式 サウンディング5本</li> </ul>	ボーリング柱状図の作成、スウェーデン式サウンディング結果等のとりまとめ
断面図等の作成	1業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーリング 2本</li> <li>・スウェーデン式 サウンディング5本</li> </ul>	ボーリングとスウェーデン式サウンディング結果を基に地質断面図の作成

なお、調査ボーリングの結果、以下の場合には追加調査が必要となります。

- ①支持層(が深度20mを超える場合は、掘進長を延長する必要あり。
- ②軟弱地盤(N値=4以下)の分布が確認された場合、サンプリング、室内土質試験(湿潤密度、土粒子の密度、含水比、粒度(ふるい+沈降)、液性限界・塑性限界、三軸圧縮(UU)又は一軸圧縮試験、圧密試験等)
- ②液状化の検討が必要と判断された場合、各地層の室内土質試験(粒度(ふるい+沈降)、液性限界・塑性限界試験)
- ③杭基礎を検討する必要が生じた場合  
支持層が深く、軟弱地盤の分布が確認された場合、孔内水平載荷試験により地盤の水平方向の地盤反力を把握する必要があります。